

# 『当院における上肢脆弱性骨折患者の臨床的 特徴と二次骨折予防について』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	当院のデータベースを用いて上肢脆弱性骨折患者の臨床的特徴を調査し、二次骨折予防に繋げるため。
研究の方法	対象患者の診療記録から骨折部位、骨粗鬆症治療介入率、介入できなかった症例についての原因の検討を行います。
対象者	2023年1月から2023年12月までに、上肢脆弱性骨折(橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折)の診断で当院にて加療された方となります。
利用する試料/情報	年齢、性別、Body Mass Index (BMI)、受傷機転、骨折歴の有無、骨密度 (YAM値)、外来リハビリテーション介入の有無、機能的自立度評価尺度 (FIM) です。
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等を利用します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第26回日本骨粗鬆症学会にて発表します。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年8月15日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部 理学療法士/内海綾乃
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部/内海綾乃